

2016

Science Cafe in Shizuoka

サイエンスカフェ



静岡

 申込不要
参加無料

場所/B-nest 静岡市産学交流センター

静岡市葵区御幸町3-21 ペガサート6階プレゼンテーションルーム

<http://www.b-nest.jp/default.html>

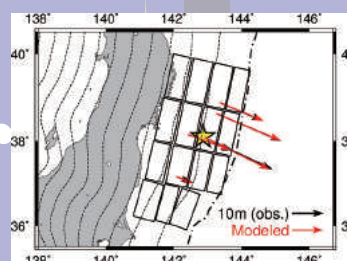
時間/18:00 ~ 19:30 (開場 17:00)


 定員150名
(先着順)

 ※ 満席に達した場合、
ご入場頂けません。

 サイエンスの最前線を
わかりやすくお話しします。
コーヒーとお菓子をご用意して
お待ちしております。
お気軽にお越しください。

第104話

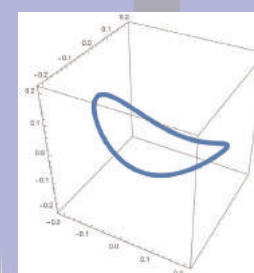
 3月
24日(木)

 プレート境界地震の発生メカニズム
—2011年東北地震後の進展—

理学部地球科学科 三井 雄太

大地震の多くは、プレートの沈み込み境界で起きています。2011年東北地震後、この種の地震が発生する物理過程の研究に、いくつかの進展が見られました。特に「断層内流体」「ゆっくり変形」の果たす役割について、ご紹介します。



第105話

 4月
28日(木)

 「物質」=「力」=「空間」!?
超弦理論の予言する世界

理学部物理学科 森田 健

「宇宙に始まりがあった。」など20世紀の物理学の進展は私たちの世界の認識を大きく変えました。実は超弦理論など現代物理学が予言する世界はさらに驚きに満ちています。本講演ではその一部を紹介します。



第106話

 5月
26日(木)

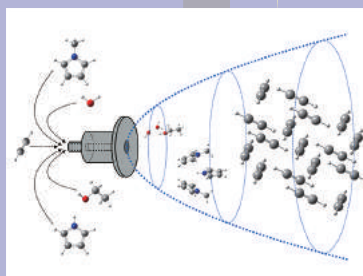
 光合成生物の巧みな生存戦略
—光を見て光を食べる—

理学部生物科学科 成川 礼

植物や藻類は光をエネルギーとして生きているため、光を情報としても認識する高度なシステムを保持しています。植物や藻類が、光の「色」や「強さ」を認識し、効率よく光合成を行う巧みな仕組みを紹介します。



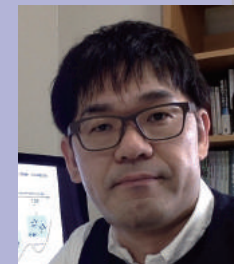
第107話

 6月
30日(木)


マイナス270°Cで気体としてふるまう物質

理学部化学科 松本 剛昭

一般的に、物質は温度を下げ続ければ固体となります。ところが超音速ジェット噴流という特殊な手法を使えば、マイナス270°Cの極低温でも気体である物質を簡単に作れます。そんな不思議な物質のユニークな性質を、「幾何構造」に基づいて紹介します。



第108話

 7月
28日(木)


作用素半群

—高校数学をもとに指数関数を一般化しよう—

理学部数学科 田中 直樹

高校数学で登場する指数関数の表現、特徴づけをご存知ですか。これらを紹介しながら、関数の集まりである関数空間と呼ばれるものを働き場とする指数関数、即ち、作用素半群の誕生について説明します。さらに、微分方程式の解法を通じて、作用素半群の魅力についてお伝えしたいと思います。


 主催：静岡大学理学部
協力：静岡市

<お問い合わせ>

☎ 054-238-4794

 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
静岡大学地球科学科 増田俊明

 [e-mail] sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp
 [公式サイト] <http://www.sci.shizuoka.ac.jp/sciencecafe/>
 [ブログ] <http://sciencecafe.eshizuoka.jp/>
 [ツイッター] <https://twitter.com/SciCafeShizuoka>